

JAIST産学官共創フォーラム 令和7年度 第2回定期講演会

# マルチモーダル対話支援・ 社会的信号処理の最前線

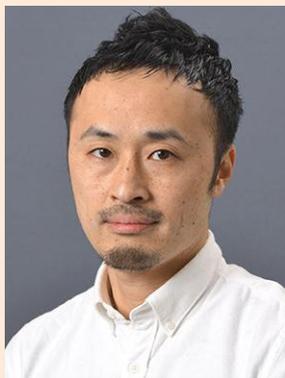
～ 感情・性格・スキル・関係性・会話の仕組みを読み解き、  
支援するマルチモーダル研究と実践 ～

2025年 **11月5日** 水 **16:00～18:00**

講演1:  
認知機能・心理・行動をつなぐ  
社会的信号処理の展開

**岡田 将吾 氏**

北陸先端科学技術大学院大学  
先端科学技術研究科  
教授



講演2:  
マルチモーダル対話の機序の  
モデル化と対話支援

**石井 亮 氏**

NTT 人間情報研究所  
デジタルツインコンピューティング  
研究センター  
特別研究員



日 時: 2025年11月5日(水)16:00～18:00 ※ 18:00より交流会

場 所: 北陸先端科学技術大学院大学 金沢駅前オフィス(ポルテ金沢 9階)  
およびオンライン(Zoom)

※ 交流会は、Microsoft Base Kanazawa(ポルテ金沢 地下1階)にて行います。  
オードブルとお飲み物(アルコール含む)を準備しております。

定 員: 会場(30名)、オンライン(50名)

参加費: オンライン参加 無料

会場参加

・JAIST産学官共創フォーラム

幹事会員・特別会員・法人会員: 無料

それ以外の会員: 1,000円

・一般の会場参加: 2,000円(交流会参加費含む)

※ 会場参加、オンライン参加ともに事前申し込みが必要です。

※ 当日会場にて現金でお支払いください。



お申込みは  
こちらから▼



お申込み・お問合せ: JAIST支援機構 事務局 jimukyoku@jaistso.or.jp

## 1. 講演テーマ

マルチモーダル対話支援・社会的信号処理の最前線

～ 感情・性格・スキル・関係性・会話の仕組みを読み解き、  
支援するマルチモーダル研究と実践 ～

## 2. 開催概要

人間同士の対話、そして人間とAIのコミュニケーションにおいては、言葉だけでなく、表情・声の調子・視線・身振りなどのマルチモーダルな行動が、相手の感情や性格、関係性を理解する上で大きな役割を果たします。これらの社会的シグナルを定量的に捉え、モデル化する「社会的信号処理」やマルチモーダル対話の状況を理解する「マルチモーダル対話モデリング」は、AIによる自然なコミュニケーション支援と人間理解の基盤技術として注目されています。本講演では、この分野で長年研究を行ってきたに大学・企業研究所研究者が、それぞれの立場から研究と実践の最新動向を紹介します。学術的基盤から応用展開までを俯瞰しつつ、AIが人間社会に受け込むために必要な技術、さらには産学連携による新たな可能性を議論します。

## 3. 講演

講演 1: 認知機能・心理・行動をつなぐ社会的信号処理の展開

講演者: 北陸先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科  
教授 岡田 将吾 氏

概要: 本講演では、人と人、人とシステム、人と機械との相互作用(インタラクション)において観察される非言語行動や言語情報といったマルチモーダル情報を手がかりに、個人の内面状態(感情)や認知機能、さらにはスキルや性格といった個人特性を推定・分析する「社会的信号処理(Social Signal Processing, SSP)」の研究事例を広く紹介します。表情・視線・声のトーン・ジェスチャなどの非言語的な行動指標と言語的特徴を統合的に解析し、対話や協調作業における対人理解やAIによる適応的支援に活用する最新の研究を取り上げます。さらに、教育、面接支援、医療・福祉、人材育成などの応用事例も交え、今後の人間中心AIの設計や人間理解技術の発展の可能性について議論します。

講演 2: マルチモーダル対話の機序のモデル化と対話支援

講演者: NTT人間情報研究所 デジタルツインコンピューティング研究センタ  
特別研究員 石井 亮 氏

概要: 人間のマルチモーダル対話の仕組みを理解・モデル化し、人同士あるいは人とコンピュータとの円滑な意思疎通を支援する世界の実現を目指しています。現在は、対話における人のマルチモーダル行動から対話能力や状況を認識する技術、発話と身体動作の関連をモデル化して音声やテキストから自然な動作を自動生成する技術、さらに人のデジタルツイン「Another Me」を活用した対話支援技術に取り組んでいます。本講演では、これらの取り組みを紹介し、マルチモーダル対話支援の可能性を展望します。

主催: 一般社団法人JAIST支援機構

後援: 国立大学法人北陸先端科学技術大学院大学